



市谷の学び

※5月20日に実施した2年生の研究授業についてお知らせします。

1 研究授業までの流れ

単元名「1年生となかよく」

入学式のとき、1年生に向けて歓迎の言葉と演奏を発表した2年生は、下級生ができた喜びでいっぱいでした。また、2年生になったという自覚も芽生え、「1年生のために何かをしたい。」という思いで、入学式の次の日から、ワクワクしていました。そんな中で、2年生自身も1年前に、昨年度の2年生に学校を案内してもらった「学校たんけん」を行いました。学校内を回る順路を考えたり、特別教室の先生に自己紹介をしたり、部屋の中にある物を探したりと、それぞれの場所で楽しめる工夫も考えました。1年生の手を取って、学校の中のいろいろな場所を案内する2年生の顔は、とても凛々しく、頼もしく感じました。



【2年生と手をつないで学校探検を行う
2年生（中央）】

2 研究授業のねらい

1年生が楽しめる遊びを考えて、いっしょに遊んだり、学校の中を案内したりした2年生。自分たちでは気付いていない成長ぶりに気付かせて、これからの学習や学校生活への意欲を高める授業にしたいと考えました。

3 研究主題の2つの視点に迫る手立て

① 心豊かに感じ合えるように

学校たんけんを終えた1年生からお手紙をもらって読んだり、1年生の担任の先生からのメッセージを聞いたりしました。お礼の言葉を聞いたり、行動を褒められたりして、少し照れながらも満足感や達成感を味わい、自分たちの成長に気付くことができました。



【手紙を読んで喜ぶ児童】

② 児童相互に学び合えるように

学校たんけんのときの写真を見て感じたことや考えたことを振り返り、多くの感想をもった上で友達と意見の交流を行いました。

手紙を読んだ感想や、今後してみたいことを一人一人が葉の形をしたカードに書き、それをホワイトボードに掲示した大きな木の枝に貼っていきました。

4 研究授業での児童の様子・発言

手紙を受け取った児童は嬉しそうな表情で「ありがとうと言ってもらえて嬉しい。」「頑張って準備してよかった」などと感想を述べていました。今回の学校たんけんで、自分たちで計画を考えて行動すること、1年生に学校のことを教えてあげることなどを経験し、自分自身の成長を感じることができました。2年生として更に今後の活動に目を向け、みんなでしてみたいことを考え、「生活科の木」にまとめました。

生活科の学習を通して・・・子供の感想



やさいがそだったら
そのやさいをとって
きゅうしょくにつかいたい。

やさいが大きくなったら、
1年生といっしょにやさい
をたべたいです。

みんなで町を
たんけんしたい。

けんかをへらしたい。

みんなと
あいさつしたい。

あたらしいことに
ちょうせんして
みたいです。

レベルアップしたい。

その後の学習では・・・

最初は枝だけだった 2 年生の「生活科の木」は、子供たちによって葉がいっぱいに生い茂りました。授業の最後に、今後の生活科の学習で、葉に書かれていることが達成されたときは、花を咲かせることに決めました。そして、『生活科の木』が満開になるとき、みんなはどうなるの？」「3 年生になる！」 進級を見据えて、今後の活動に取り組みます。